

環境年報 2022

Environmental Annual Report 2022



アスカコーポレーション 株式会社

<目次>

目次	1
会社概要、沿革	2
ごあいさつ	3
環境方針	4
環境マネジメント	5
SDG s の取組み	6
環境目標 2021年度実績	7
地球温暖化 CO ₂ 排出量	8
法令順守	9
責任ある鉱物調達（紛争鉱物）への対応	10
地域との調和（コミュニケーション）	11
年次トピックス	12～13
編集後記	14



【表紙の写真】のおがたチューリップフェア2022

遠賀川の河川敷で開催される一大イベント。

1,000人を超えるボランティアの方々の協力によって植えられた13～15万球のチューリップが、遠賀川の河川敷に咲き誇ります。

2020年・2021年は、新型コロナウイルス感染拡大の影響で中止となり、3年ぶりに開催されました。

■ 編集解説

- 1) 「環境年報2022」は、当社の環境活動の取り組みと成果を、年次報告として取りまとめたもので今回が8回目の発行となります。
- 2) 活動の実績は2021年度（2021年6月～2022年5月）を示しますがデータについては一部以前からの活動と直近の活動実績も含んでおります。
- 3) ご参考までに2021年度は弊社事業年度で第52期にあたります。

本小冊子が「弊社環境活動」のご理解の一助にでもなれば幸いです。

会社概要・沿革

名称	アスカコーポレーション株式会社
所在地	〒822-0007 福岡県直方市大字下境字黍田427-8
設立年	昭和46年1月18日
資本金	3,200万円
代表	取締役社長 阪 文孝
規模	敷地面積 8,337 m ² 建屋面積 3,009 m ² 延床面積 6,726 m ²
従業員	135名 (2022-12-1 現在)
業種	金属表面処理業 (めっき処理) (リードフレーム全面銀、Pdフープ、 セラミック振動子搭載基板へのめっき 外装フープ、UBM、バックメタル)



<アスカコーポレーション工場全景>

【加工製品群】

リードフレーム



半導体ウエハ表面処理めっき



◆ 会社沿革

- 1971 OMRON(株)様の要請により直方市に進出、(株)上田鍍金工業所として独立
- 1975 自動車部品の垂鉛めっきライン設置
- 1985 第3工場完成 IC用めっきライン設置
- 1989 第4工場建設 ICスポット銀 P-Niライン設置
- 1993 社名変更「アスカコーポレーション 株式会社」
- 1998 新建屋完成 Pdフープライン、Auライン導入
- 1999 ISO9002認証取得
- 2001 中国(蘇州)進出(蘇州飛鳥表面処理公司)
- 2003 UBMめっきライン導入、アスカ塾開校
- 2006 ISO14001認証取得
- 2013 バックメタルライン導入
- 2016 阪(和彦)会長就任、阪(文孝)社長就任
- 2017 電解バックメタル2号機導入
- 2018 ワンストップサービス装置、UBM4号機(自動機)導入
ISO14001:2015年版認証取得
- 2019 UBMめっき4号機(自動機)導入



ごあいさつ

お元気様です！

皆様、こんにちは。

日頃より大変お世話になりまして誠にありがとうございます。
当社は「自然との調和」を基調に、未来技術をアシストする
表面処理業として時代を常にリードし続け社会と暮らしに、
陰ながら貢献してまいりました。

「環境はあらゆる生命の母胎であり、存続の基盤」と受け止め
一人ひとりが環境の有限性を深く認識し、事業活動や日常活動が
環境負荷の少ないものへ、持続的発展が可能な社会となるよう
取組を通じて、地球環境の保全に貢献していく所存です。
今後ともアスカコーポレーションの「環境諸活動」にご理解を頂き、
ご支援とご協力のほどをよろしくお願い申し上げます。



2022年12月
アスカコーポレーション株式会社
代表取締役社長 阪 文孝

経営理念

キラリ 人、技術、未来 そして自然

人が輝き、技術が輝く、そして未来を輝かせたい。またキラリ輝くアスカの表面処理技術によって、
ユーザー商品の品質と未来技術を支え、企業として永続的に輝き続けたいのです。

■ 経営方針

- 夢技術の創造
- 人、暮らし、心を創る
- 未来社会を支える



■ 行動指針

- モノの未来を見つめ可能性にチャレンジ
- アーティスト集団となる
- クリーン&ビューティー
- 早くそして気持ちよく安心して満足を
- サンキュー&ハート
- 人と個性を大切に

環境方針

当社は「キラリ！人、技術、未来、そして自然！」という経営理念のもと、キラリ輝く未来社会に向けて、「安全で環境と共生する会社」を事業方針に据え、環境活動の充実に取り組んでいます。

環境方針

従業員一人一人が企業活動のあらゆる面で、SDGsの主旨に沿って、地球環境の保全に努め、豊かで安全な社会の構築に貢献することを目指して行動します。

【行動指針】

当社では、独自に培った技術を駆使し、半導体ウエハやリードフレーム及びその他の電子部品の表面処理を実施しており広く社会の暮らしをサポートしております。しかし、その加工や開発の過程では少なからず環境に影響を与えていることを認識し、次に掲げる環境活動を展開します。

- 1) 私たちは当社が環境に与える影響を的確に捉え、技術的、経済的な可能性を考慮して、次の事項につき 環境目的、目標を設定し、環境負荷の低減、環境汚染の予防及び環境保護に努めます。
 - ①省エネルギー、省資源の推進
 - ②工程の改善による材料の削減
 - ③地域社会との環境調和
 - ④排水基準の遵守
- 2) 私たちは環境保全の仕組みについて、定期的に環境目的、目標の達成度をレビューし、環境保全活動の継続的な改善に努めます。
- 3) 私たちは環境法規制及び当社が同意した協定等その他の基準を順守します。
- 4) 私たち組織で働くすべての者はCSR意識の向上に努め、積極的に地域の環境活動に参画し、地域住民との交流を図ります。
- 5) 私たちはこの環境方針を内外に公表し、要求があったときはいつでも外部に公表できるようにします。

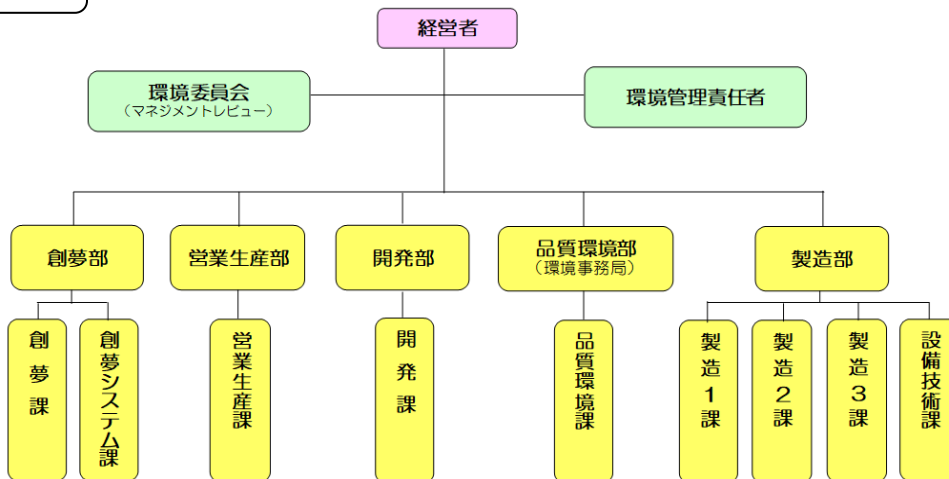
【適用範囲】

1. 登録組織名称：アスカコーポレーション株式会社
(所在地、活動内容は会社概要に記載)
2. 組織及び対象者の範囲：当社のすべての組織及び従業員
(派遣社員、パート等を含む)に適用する。
3. 影響を及ぼすことができる範囲：黍田工業団地、外注先、供給者、請負業者、他



環境マネジメント

環境組織



当社は、環境に関する内部コミュニケーションの場として、「環境委員会」を設けています。

ISO14001定期審査

当社は、2006年3月に環境国際規格であるISO14001環境マネジメントシステムの認証を取得、2017年に2015年版移行審査を受審しており、各審査でも重大な不適合の発生はありません。2022年に実施された定期審査では、小集団活動で取り組んだ改善活動による成果が評価され、ストロングポイントに挙げて頂きました。

年度	カテゴリA	カテゴリB	改善の機会	グッドポイント	ストロングポイント
2006年(1st/2ndステージ)	0	1	20	0	0
2017年(2015年版移行審査)	0	0	5	1	0
2018年(更新審査)	0	0	14	2	0
2019年(定期審査)	0	0	6	1	0
2020年(定期審査)	0	1	6	2	0
2021年(更新審査)	0	0	15	2	0
2022年(定期審査)	0	0	5	3	1



<ISO14001:2015(JQA)>

SDGsの取組み

持続可能な開発目標（SDGs）とは、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標のことです。

SDGsは、17の目標・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない」ことを誓っています。

当社は経営理念の「**キラリ 人、技術、未来 そして自然**」をキーワードとして、国際社会全体の目標達成に向け、SDGsの取組みを事業活動に取り入れ、持続可能な企業を目指します。

No.	ロゴ	内容	アスカ取組み
1		貧困をなくそう あらゆる場所のあらゆる形態の貧困を終わらせる	
2		飢餓をゼロに 飢餓を終わらせ、食料安全保障及び栄養改善を実現し、持続可能な農業を促進する	
3		すべての人に健康と福祉を あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する	<ul style="list-style-type: none"> ・ペットボトルキャップ回収活動⇒ワクケン ・献血活動 ・健康診断、婦人科検診、ストレスチェックの実施 ・インフルエンザワクチン接種の推進 ・AEDの導入 ・防災訓練、安全推進大会、H/H活動
4		質の高い教育をみんなに すべての人に包摂的かつ公正な質の高い教育を確保し、生涯学習の機会を促進する	<ul style="list-style-type: none"> ・職場体験イベント「のおがたわくわく」の企画 ・外部研修の参加 ・事業計画決定大会 ・小集団活動発表会の実施
5		ジェンダー平等を実現しよう ジェンダー平等を達成し、すべての女性及び女児の能力強化を行う	
6		安全な水とトイレを世界中に すべての人々との水と衛生の利用可能性と持続可能な管理を確保する	<ul style="list-style-type: none"> ・排水管理（水質監視）
7		エネルギーをみんなに そしてクリーンに すべての人々の、安価かつ信頼できる持続可能な近代的エネルギーへのアクセスを確保する	<ul style="list-style-type: none"> ・電気使用量の削減活動
8		働きがいも経済成長も 包摂的かつ持続可能な経済成長及びすべての人々の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用を促進する	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者雇用、海外技能実習生の受け入れ ・従業員年間表彰 ・従業員のスポーツ観戦（ホークス観戦） ・社内旅行
9		産業と技術革新の基盤をつくろう 強靱なインフラ構築、包摂的かつ持続可能な産業化の促進、及びイノベーションの推進を図る	<ul style="list-style-type: none"> ・小集団活動 ・排水制御盤更新 ・ICカード活用
10		人や国の不平等をなくそう 各国内及び各国間の不平等を是正する	<ul style="list-style-type: none"> ・紛争鉱物調査の実施
11		住み続けられるまちづくりを 包摂的で安全かつ強靱で持続可能な都市及び人間居住を実現する	<ul style="list-style-type: none"> ・直方清掃活動参加 ・直方市イベント協賛（夏祭り、チュールフェア等）
12		つくる責任つかう責任 持続可能な生産消費形態を確保する	<ul style="list-style-type: none"> ・排水管理（水質監視） ・めっき薬品使用量の削減 ・Niスラッジサイクル ・紛争鉱物調査の実施
13		気候変動に具体的な対策を 気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる	<ul style="list-style-type: none"> ・電気使用量の削減
14		海の豊かさを守ろう 持続可能な開発のために海洋・海洋資源を保全し、持続可能な形で利用する	<ul style="list-style-type: none"> ・排水管理（水質監視） ・Niスラッジ有価物化 ・エコバック活動
15		陸の豊かさを守ろう 陸域生態系の保護、回復、持続可能な利用の推進、持続可能な森林の経営、砂漠化への対処、並びに土地の劣化の防止・回復及び生物多様性の損失を防止する	<ul style="list-style-type: none"> ・植栽活動 ・清掃活動 ・エコバック活動
16		平和と公正をすべての人に 持続可能な開発のための平和で包摂的な社会を促進し、すべての人々に司法へのアクセスを提供し、あらゆるレベルにおいて効果的で説明責任のある包摂的な制度を構築する	
17		パートナーシップで目標を達成しよう 持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する	<ul style="list-style-type: none"> ・購取学園への寄付 ・めっき組合会合参加 ・泰田工業団地協議会参加 ・各種スポーツ協会への協賛 ・納涼祭の開催 ・直方夏祭り、チュールフェア企画



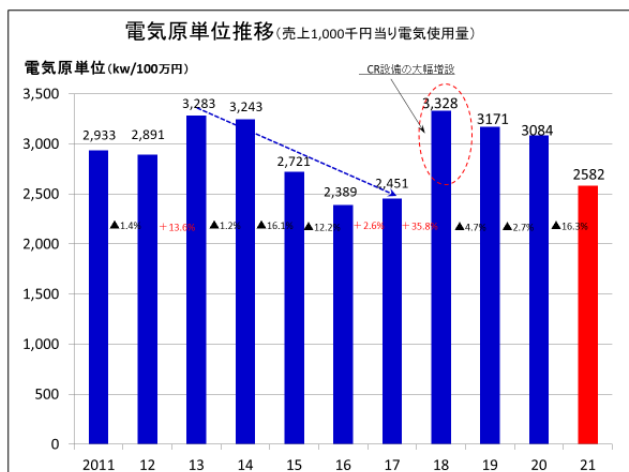
環境目標 2021年度実績

当社の活動から生ずる環境影響を低減する手段として、ISO14001に適合した環境マネジメントシステムに基づき環境目標を策定し推進しています。

下表は2021年度の環境目標に対する実績です。（2021年度 = 52期）
右欄には、環境目標とSDGsの関連を表しています。

環境方針	環境目標（52期）	実績	評価	SDGsとの関連
省エネルギー	電気使用量の削減 計画値比0.1%削減	計画値比9.0%削減	○ 達成	7 気候変動に具体的な対策を、9 産業と地域づくりの力強い持続可能な開発を実現を、13 気候変動に具体的な対策を
省資源	めっき薬品使用量の削減 前期比 0.78%削減	前期比 5.0%削減	○ 達成	9 産業と地域づくりの力強い持続可能な開発を実現を、12 つばき資源の循環を、17 パートナリシップ（国と民間企業）
地域社会との環境調和	植栽活動（緑地エリアの下草刈、枝の剪定） 4回以上/年	9回/年 実施	○ 達成	15 陸域生態系保護を
	納涼祭の開催（8月開催）1回/年	新型コロナウイルスの影響により中止	—	3 持続可能な消費を促進を、17 パートナリシップ（国と民間企業）
	めっき組合会合参加 4回以上/年 工業団地協議会出席 1回以上/年	めっき組合会合参加 14回/年 参加 工業団地協議会出席 3回 出席	○ 達成	17 パートナリシップ（国と民間企業）
	のおがた夏祭り、チュリップフェア協賛・参画	のおがた夏祭り：新型コロナウイルスの 影響により中止 チュリップフェア：協賛・参画	○ 達成	15 陸域生態系保護を、17 パートナリシップ（国と民間企業）
	ペットボトルキャップ回収	ペットボトルキャップ 2,454個回収 2022年5月に回収分を寄付先へ発送	○ 達成	3 持続可能な消費を促進を
	環境年報の発行・公開 1回/年	2021年11月 環境年報公開	○ 達成	4 質の高い教育をみんなに
環境保全活動	環境クレーム「0」	環境クレーム 0件	○ 達成	6 安全な水とトイレを世界中に、11 持続可能な消費を促進を
環境法規制の順守	環境法規制に関連する届出100%実施	届出100%実施	○ 達成	16 平和と公正な社会を、17 パートナリシップ（国と民間企業）

◆ 電気使用量



電気使用量は原単位管理を実施しています。2021年度はインフラ装置の集約、クリーンルームの空調節電モード設定、及び生産性向上による電気使用量の削減に努め、環境目標を達成することができています。

毎月実施している環境委員会では、前月度の電気・用水使用量の実績報告を行っています。

また毎年5月に実施しているマネジメントレビューでは、環境目標の達成度を報告しています。

地球温暖化（CO₂排出量）

◆地球温暖化とは

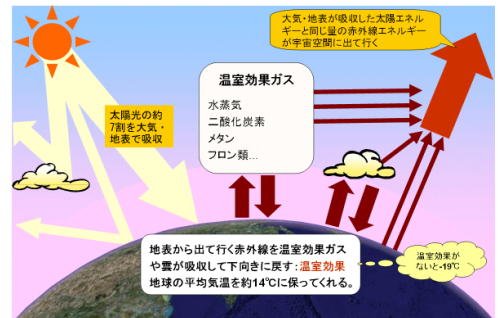
人の活動に伴って発生する温室効果ガスが大気中の温室効果ガスの濃度を増加させることにより、地球全体として地表、大気及び海水の温度が追加的に上昇する現象のことを言います。

◆温室効果とは

地球の大気には**二酸化炭素**などの**温室効果ガス**と呼ばれる気体がわずかに含まれています。これらの気体は赤外線を吸収し、再び放出する性質があります。

この性質のため、太陽からの光で暖められた地球の表面から地球の外に向かう赤外線の多くが、熱として大気に蓄積され、再び地球の表面に戻ってきます。この戻ってきた赤外線が、地球の表面付近の大気を暖めます。これを**温室効果**と呼びます。

大気中の温室効果ガスが増えると温室効果が強まり、地球の表面の気温が高くなります。



出典：気象庁ホームページ

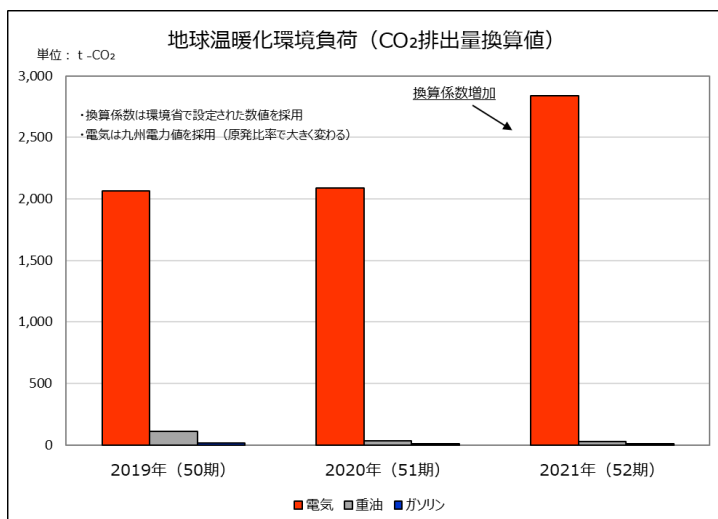
(<https://www.jma.go.jp/jma/kishou/info/coment.html>)

「温室効果の模式図」（気象庁ホームページより）

◆環境負荷状況（CO₂排出量）

二酸化炭素はおもに化石燃料（石炭、石油、天然ガスなど）を燃焼させると発生します。例えば、私たちの生活に不可欠な電気などのエネルギーを作るには、大量の化石燃料が使われており、大量のCO₂が排出されています。

当社のCO₂排出の最大エネルギー源は電気で、ASKA全体の約98%を占めています。電気使用量を削減することで、地球温暖化防止（CO₂排出量の削減）に努めています。



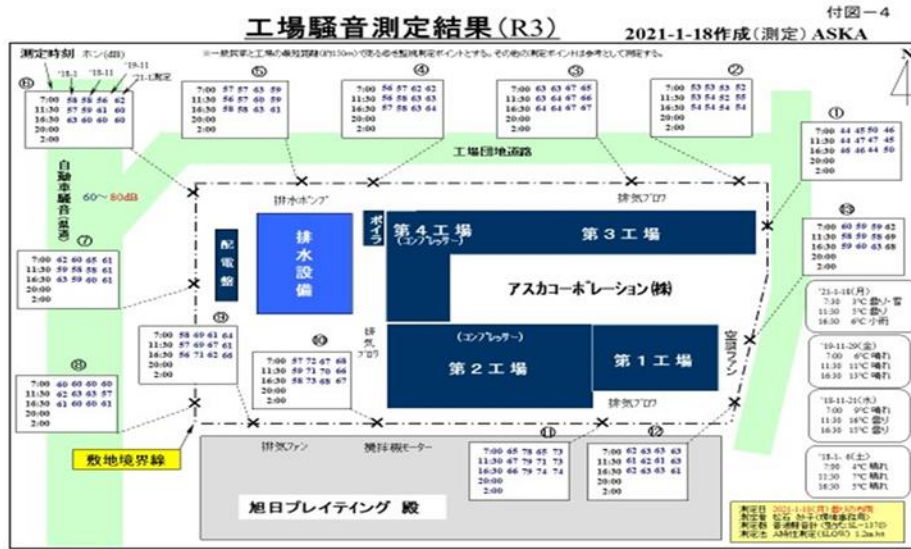
2021年度は、電気使用量の増加と電気のCO₂排出係数が上昇した影響でCO₂排出量が増加しました。

2022年度は電気使用量の削減取り組みを行いながら、月単位でのCO₂排出量を監視し、毎月の環境委員会で報告しています。

法令順守

◆ 騒音

事業活動で発生する「騒音」については、直方市の告示で第3種地域に該当しており、1回/年、定期測定を実施し、規制基準の遵守に努めております。測定結果から全く問題ないレベルであることを確認しています。



◆ 水質管理



水質汚濁防止法に係る「特定施設」を保有しており、各ラインからの排水は当社の排水処理設備にて処理されます。

工場の排水は24時間リアルタイムで管理されており、直方市との公害防止協定で締結した15項目の規制基準の遵守に努めております。

規制値違反、外部環境クレーム(苦情)等の発生ゼロを継続しております。

(単位: mg/L)

項目	水質汚濁防止法	福岡県条例 上乗せ基準	協定	社内基準
pH	5.8~8.6	—	6.5~8.5	6.7~8.0
銅	3	—	—	2.5
亜鉛	2	—	2	1
COD	160 (日間平均120)	120 (日間平均90)	60	50
BOD	160 (日間平均120)	120 (日間平均90)	—	100
鉛	0.1	—	0.5	0.1
シアン	1	—	0.5	0.2
ふっ素	8	—	—	6
アンモニア、アンモニウム化合物、亜硝酸化合物及び硝酸化合物	100	—	—	80

項目は一部抜粋です



<写真は排水処理設備全景>

責任ある鉱物調達（紛争鉱物）への対応

16 平和と公正を
すべての人に



当社は、企業の社会的責任（CSR）を推進していくため、紛争鉱物調達方針を掲げ、紛争鉱物対応方針に沿った取り組みを実施しております。

『紛争鉱物』とは

コンゴ民主共和国およびその周辺9ヶ国の紛争地域で産出される鉱物「**3TG：タンタル・スズ・タングステン・ゴールド（金）**」の一部は、その採掘において深刻な人権侵害や環境破壊などをもたらし、あるいは武装勢力の資金源となり、「**紛争鉱物**」として国際的な問題となっています。

紛争鉱物対応方針

当社は、コンゴ民主共和国及びその周辺諸国で採掘され、人権侵害、環境破壊等を引き起こす武装勢力の資金源となる紛争鉱物（3TG：タンタル、スズ、タングステン、ゴールド（金））を使用しません。また調達取引先と協力して、**RMI※**が提供している「**CMRT（Conflict Minerals Reporting Template：紛争鉱物報告テンプレート）**」を使用し、サプライチェーンに対する鉱物の原産地と流通経路についての調査を適切に実施します。

※RMI：Responsible Minerals Initiative（責任ある鉱物イニシアチブ）



当社は、市民社会の秩序や安全に脅威を与える反社会的勢力及び団体に対しては一切の妥協を許さず、関係を排除します。

紛争鉱物調査結果

調達取引先に協力頂き、紛争鉱物調査を行った結果、紛争鉱物の使用はございませんでした。2021年度のお客様からの紛争鉱物調査依頼に対する回答率は100%となっています。今後もお取引先様の協力のもと、責任ある調達に向けた取り組みを推進していきます。

地域との調和（コミュニケーション）

のおがたチューリップフェア、のおがた夏まつりの協賛・参画

当社は遠賀川河川敷で毎年行われる直方市が主催している『のおがたチューリップフェア』、『のおがた夏まつり』に協賛・参画しています。



チューリップフェアに向けての球根植えや草抜き、夏まつりの翌日に実施される清掃活動といったボランティア活動に参加し、地域住民の方との交流を図っています。地域活動を通して従業員の環境に対する意識向上にもつながっています。



球根植え（2021年11月）



草抜き（2022年3月）



夏まつり後 翌日の清掃活動（2022年10月）



清掃後の集合写真

年次トピックス

工業団地の清掃・植栽活動



毎朝、朝礼後に分担して10分間、工業団地入口坂道スロープ周辺を清掃しています。坂道・側溝の掃き掃除や草刈り等を実施しており、清掃活動を通して美化意識の向上にもつながっています。

2021年、2022年は、定期的な草刈りの他に、電線に架かっている枝の伐採なども安全を確保した上でおこないました。



工業団地入口スロープ清掃



駐車場の草刈り

排水制御盤の更新（2021年10月）



2021年10月に排水設備の制御盤を更新し、当社の管理システムに排水データが収集・保存される様になりました。

排水データは1時間単位で記録され、パソコンで24時間リアルタイムで排水実績を確認することが出来、排水管理の強化につながっています。



年次トピックス

廃棄物置場の更新（2021年12月）

廃棄物置場の老朽化に伴い、廃棄物置場とリサイクル容器置場の更新をおこないました。適切な廃棄物管理を行い、法令順守に努めます。



献血バスの受け入れ（2022年4月、11月）

2022年4月、11月に福岡県赤十字血液センターの献血バスを受け入れました。

新型コロナウイルスによる影響で集団献血の中止が相次いでおり、必要な献血が不足しているといった状況を受け、当社従業員だけでなく、工業団地の方にも声掛けをおこない、献血に協力頂きました。

今後も献血活動を続け、社会貢献に少しでも繋がる活動に取り組んでまいります。



アスカコーポレーションのオールスターキャストです



2022-1-5 撮影

■ 編集後記

「環境年報2022」をお読み頂きありがとうございます。

今年度も新型コロナウイルス感染拡大による影響で、依然、様々な活動が制限されていますが、感染防止対策を徹底しながら、地域活動などを出来る範囲で積極的に取り組んでまいりました。

今後も社会情勢や環境問題を鑑みながら、当社に求められるニーズ及び期待を明確にし、当社の環境活動に繋げてまいります。

記事に関するご質問やご感想、また弊社に対してのご要望などがございましたら裏面記載の連絡先までご一報ください。
ありがとうございました。





アスカコーポレーション株式会社

品質環境部 環境事務局

〒 822-0007 福岡県直方市大字下境字黍田427-8

TEL 0949-23-0331 FAX 0949-28-2941

URL <https://www.aska-plating.co.jp>